

■ブラジル・パラグアイ：イタイプ、ビジャアジェス間の送電線建設が開始

ブラジルとパラグアイの国境に位置するイタイプとパラグアイのビジャアジェス間の送電線の建設工事が 2010 年 7 月 30 日に着工した。パラグアイの首都アスンシオン近郊に位置するビジャアジェスでは変電所建設も始まり、送電線と合わせた総工費は 4 億ドル（約 350 億円）である。敷設される送電線は電圧 500kV、延長 345km で、建設期間は 3 年間となっている。ブラジルとパラグアイはイタイプ水力発電所を半分ずつ所有しているが、パラグアイはその 5%しか消費しておらず、残りはブラジルに売却していた。今回の送電線の建設により、電力不足によって停電が頻繁に発生しているパラグアイの現状が緩和されるとみられる。